

伐採伐採および運搬作業手順【ヒアブ付トラック(8t)】

・ヒアブ付トラック(8t)による伐採および発生材回収・運搬 作業手順書

改定日 2022.10.3

【必要な資格】 大型免許・移動式クレーン・玉掛け

準備工

ケーブル確認
危険物の除去

樹木伐採
運搬
荷下ろし

作業終了と後片付け

内 容	留 意 事 項
<ul style="list-style-type: none"> 作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容の打ち合わせ(KY)活動(事前調査資料参照) 作業方法の確認 作業箇所、条件により機械の選定及び人員の配置を行う 作業人員の確認 作業規制の確認 使用機械・工具の点検 保護具の点検 現場出入りの確認 	<ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメントによる危険予知の実施 伐木講習修了者を中心に編成、各種資格の確認・使用機械の選定 担当者との打ち合わせ(現地にて作業方法の確認打ち合わせ) 天候を考慮して作業機械を選定する。(現場状況、天候、作業者のレベル等で職長が判断) 責任者により作業分担任を選任。資格証携帯確認 作業責任者は作業の進捗により人員配置を変更する 車両運行前・使用機械安全装置の点検確認 保護具の損傷がないか点検を行う。(使用機械別保護具を参照) フェンス開口部が近くない場合は、アルミ(トラック用)ステップを立ち入り防止柵にしっかりと固定して乗り越える 側道からの作業にあつては駐車場所に注意し民地であれば承諾を得る。 作業前に安全靴の選定をする。(土踏まず部分の切欠きされた安全靴は使用しない) 作業前に通路を確保しておく。
<ul style="list-style-type: none"> 現場到着後、リスクアセスメントによる現場KYの実施 ケーブル露出箇所の確認 危険物(ゴミ等)の除去 	<ul style="list-style-type: none"> 現場到着後、現場責任者と刈り手でケーブル図面を確認しながらどこにケーブルが通っているか確認をし印付け及び作業員へ周知を行う 年間ケーブル協議書に準じてケーブル防護を行い作業を行う(年間協議書参照) 架空線も確認し作業に支障が生じる場合は管理者と協議を行つてからの作業とする。(管理者へ防護管などの設置依頼) ケーブルの周りをカマ等人力で刈削(直径2m程度)目印つける ケーブルの立ち上がりが見えられた場合は、引き込み箇所もあるので必ず確認を行う。 刈り手に露出ケーブル等の場所の説明 危険物(ゴミなど)は前もつて除去する ゴミ等は指定された仮置き場に集積する
<p>※フェリンググラブ = チェーンソー付き ※グラブ = チェーンソー無し</p> <ul style="list-style-type: none"> フェリンググラブにて伐採 グラブにてチェーンソー併用で伐採 グラブにて発生材を積み込む 発生材運搬 荷下ろし 	<ul style="list-style-type: none"> 近くにフェンス開口部がある箇所は開口部より出入りする Co擁壁、ブロック積、勾配のきつい箇所へは乗り越え箇所を設けない平坦な箇所を選定する。 非常駐車帯の出入りに関しては後続車との動向および車間距離に注意する。(基本500m以上の車間の確認) 露出ケーブル・埋設ケーブル・架空線の切断に注意する 高さ2m以上腰巻き安全带使用 ヒアブ作業時においては、必ず監視員を配置する。(監視員は、ヒアブと接触する構造物等がないかを監視し、オペレーターは監視員の指示に従うこと) ヒアブ付トラック(8t)の作業半径内は原則立ち入り禁止(やむを得ず立ち入る際は配置した監視員の指示に従い立ち入る。) 切り株のない通路が確保できる場合はそちらを通路として、切り株のある場所は通路として使用しない。 上下作業の禁止(吊り荷の下には立ち入らないこと) 路面上から発生材回収を行う場合は路面に損傷を与えないように作業を行う 旋回する際、構造物・標識に注意し損傷させない(必ず監視員を配置する) 架空線のある場合は管理者と協議を行う 保護具の着用をする。(使用機械別保護具を参照) 作業前にハチの巣および周囲の確認を行う。 伐採した木や竹は速やかに運搬車に積み込み、枝葉など飛散する可能性のあるものを仮置きする場合は風の強弱に関わらず必ずネット等で飛散対策を行う 伐採作業(伐採、積込等)で周辺の樹木が作業の支障になる場合は担当職員と協議の上、支障になる樹木を剪定又は伐採してから目的の樹木を伐採する ヒアブオペレーターは、作業に支障を及ぼす樹木を除去する前に無理をして作業を行わない。 遮音壁越して伐採木が確認できない場合はトランシーバー・合図などで作業員と連携を取り作業を行う アウトリガーの確実な使用(敷板を必ず使用)埋設管路の上に設置しないよう注意する。 運搬時積み荷の落下注意(落下防止対策の実施) 荷下ろしの際は周囲に人がいないことを確認して荷下ろしを行う 道路交通法を遵守して運行を行う 側道通行時には脱輪に注意する。 風向に注意しプロアー作業を行う。 木くずなどが排水溝などに詰まりが発生しないように注意する。
<ul style="list-style-type: none"> 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 切りくず・道具等の放置確認 リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施 使用機械の清掃、調整の実施

注意事項

- 伐木の知識の無い人はむやみに伐採しない。必ず現場指揮者の指示を仰ぐ。
- 第三者被害や事故を発生させた場合のことの重要性を十分理解・認識をする
- 現場の状況に合わせて「車線規制・クレーン車」検討をおこなう
- 玉掛けワイヤーの点検
- 1人作業の禁止
- 有資格者により作業を行う。(資格証を所持する)
- 合図の確認・無線機の有効活用

<p>安全器具・保護具確認</p> <p>ヘルメット・安全チョッキ</p> <p>殺虫剤・ボイズンリムバー・熱中症グッズ・涼しん帽</p> <p>使用機械別使用保護具を参照</p> <p>【ケーブル事故防止対策】コンパネ・シュート</p> <p>「蜂抗体検査レベル3以上」の方:エビバン</p>
<p>使用機械</p>